

令和6年度第1回 川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会

次 第

日時：令和6年6月28日（金）14時～

会場：川崎市青少年科学館 自然学習棟2階 学習室

1 開会

2 委嘱状交付

3 館長挨拶

4 委員・事務局職員紹介

5 部会長・副部会長選出

6 議題

令和6年度予算・事業計画について 資料1

7 報告事項

(1) 青少年科学館専門部会今後のスケジュールについて 資料2

(2) その他

8 閉会

【参考資料】

カワサキノコト、科学館だより6・7月号、もりのにじ夏号

川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会 委員名簿

任期：令和6年5月1日から令和8年4月30日まで

		氏 名	役職等
1号	教育職員	菅原 隆宏	稗原小学校 校長
		高橋 泉	王禅寺中央中学校 校長
2号	社会教育関係		欠 員
3号	公募市民	南條 邦子	
		間渕 秀和	
4号	学識経験者	佐藤 武宏	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 (貝類学・甲殻類学・機能形態学)
		山岡 均	国立天文台天文情報センター センター長／准教授 (天文学)
		常喜 豊	昭和女子大学名誉教授 (動物生態学)
		栗芝 正臣	専修大学ネットワーク情報学部 准教授 (デザイン学)
5号	家庭教育関係	眞壁 総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず 理事長

令和 6 年度 青少年科学館予算・事業計画

1 事業内容と予算

事業名	事業内容	R6 予算額 (千円)	R5 予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
青少年科学館運営管理事業費	事業実施、研究調査、展示設備等保守、会計年度任用職員任用、備品・消耗品の調達等、学芸業務に係る事業費、21世紀子どもサイエンス事業費	18,524	18,042	482	備品購入費等の増額
青少年科学館指定管理経費	館の管理運営業務、広報業務等の指定管理者への委任に係る事業費	87,307	87,307	0	第3期指定管理 2年目
メガスター運営経費	最新鋭の投影設備を備えたメガスターⅢフュージョンの保守管理(13年目保守)、番組制作の委託に係る事業費	35,482	32,181	3,301	新たなフュージョン 番組の制作による増額
ホクトゾウ人工飼育事業費	絶滅危惧種である生田緑地産ホクトゾウ系統保存の委託に係る事業費	176	176	0	
合 計		141,489	137,706	3,783	

2 事業計画

引き続き収集保存事業、展示事業、調査研究事業、教育普及事業、ネットワーク事業を行う。施設の運営管理等については指定管理者に委託する。

(1) 収集保存事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 収蔵資料の収集・分類・整理(台帳化)	昆虫資料を中心に新規資料の作製を進める。また、収蔵庫にある既存の昆虫標本のうち未登録資料の整理・登録(電子台帳化)と新規作製標本を併せて1,000点を目標に進める。	通年	新規資料として昆虫資料99点を採集。 ※5月末現在
	2 GBIF 等国内外機関への資料情報の提供	「サイエンスミュージアムネット(S-Net)」「地球規模生物多様性情報機構(GBIF)へのデータ提供による国内外への収蔵資料情報の公開	通年	本年度は植物標本等、資料1,150点を提供予定
天文	1 プラネタリウム番組のアーカイブ化	番組制作の際に収集した資料、番組素材のアーカイブ化を行う。 資料のデータベース化について、他館の事例を調査するなど検討を行う。	通年	番組資料の統一フォーマットを作成しアーカイブの目録を作成中。 富田資料等についてはデジタル化と目録作成を進めている。
	2 天文資料の整理保存	故富田氏、故箕輪氏から寄贈された天文資料を整理保存し、目録作成を進める。	通年	
科学	1 科学実験についての資料収集と保存・管理	科学実験教室等で提出される計画書・報告書の管理及び実践事例集を作成し、科学市民団体と取組や成果の共有を図る。館内視聴やSNS活用を踏まえて、科学工作を紹介する動画を制作する。	通年	計画書・報告書を実施の都度、管理・集約中。 科学工作の動画更新の企画中。

(2) 展示事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 生田緑地の自然情報の発信	生田緑地における自然について、受付横の生田緑地マップやSNSなどを活用してリアルタイムな情報発信を行う。	通年	受付横の生田緑地マップを2週間に1回程度、SNSを8回更新。※5月末現在
	2 新たな自然史資料による常設展示の更新	生田緑地の四季だより、ピックアップ展示で新たな標本・キャプションによる展示更新を実施する。	通年	四季だよりを年4回中1回更新、ピックアップ展示を年11回中2回更新。※5月末現在
天文	1 プラネタリウム一般投影 (一般投影番組制作含む)	市民への天文知識普及を目的に、毎月テーマを変えて投影。 フュージョン新番組を制作する。	通年	
	2 子ども向け投影 (子ども向け番組制作含む)	幼児・小学生を対象に約2カ月ごとに番組を変えて投影 (土・日・祝日:1日1回、夏・冬・春休み期間:1日2回)	通年	今年度中に新番組1本を制作予定
	3 星空ゆうゆう散歩	平日午後にシニア向け投影として実施。元職員の國司眞氏が解説を担当する。	11回	
	4 ベビー&キッズアワー	4歳までの乳幼児とその保護者を対象とした投影を第1木曜日、第3水曜日(学校の長期休業期間等を除く)に開催する。	通年	
	5 プラネタリウム学習投影	小中高等学校の学習指導要領に準拠した投影。その他幼稚園・保育園等を対象とした投影も実施。	通年	要望に応じて随時対応
	6 星空自由空間 (一般団体貸切利用)	平日に一般団体による貸切利用を受入れ。投影内容等のカスタマイズに応じる。	通年	要望に応じて随時対応
	7 天文関連展示事業	天文に関する常設展示の他、プラネタリウム番組やイベントに関連した写真展など企画展示の開催。	通年	
科学	1 市民協働の科学工作展示	科学実験教室・サイエンスワークショップ等で取り組んだ科学工作物や原理をパネル展示や映像資料として公開する。	通年	市民団体との協働にて展示内容を随時更新。AR展示を継続し、動画などの映像資料を更新。

(3) 調査研究事業

分野	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1 市域の生物調査	生田緑地を中心として、市域における動植物相解明を進めるための生息種の確認調査を行うとともに、モニタリングが可能な分類群については、生息状況把握のための実態調査を実施する。	通年	委託事業として4月から実施。
	2 市民の興味関心を高める調査研究の実施	外来種のムネアカハラビロカマキリについて、昨年度の幼虫期での採集圧による個体数抑制の効果を検証するために、生息状況を調査する。また、新たな調査研究の対	通年	カマキリ調査は7月から実施予定。カメムシ相については適宜記録中。

			象として、生田緑地のカメムシ相について記録する。		
天文	1	川崎市域の星の見え方調査	市民協働により川崎市域における星の見え方調査を継続して実施する。	2回	インターネットでの調査を実施
	2	天体の観測	太陽望遠鏡での白色光及びH α 光による太陽観測、アストロテラス、天体観測室の望遠鏡及び冷却 CCD カメラ等の観測装置を活用した観測的研究を行う。	通年	条件の良い日に随時観測を行う。
科学	1	市民の興味関心を高める調査研究の実施	授業活用をねらい、地層学習のデジタル教材に関連したプログラムを研究する。	通年	地層学習のデジタル教材の原案を作成中。

(4) 教育普及事業

分野	事業名		事業内容	実施回数	事業実施状況
自然	1	生田緑地観察会	生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫など、四季折々の自然を観察する。(市民団体が講師)	26回	実施中
	2	サイエンス教室(自然分野)	収蔵庫を見学するバックヤードツアー、学芸員のおしごと体験教室、多摩川での観察会を含む教室等を開催予定。	10回	
	3	自然サポーター研修会	自然分野の調査研究等を行う自然サポーターを養成することを目的とした講座	4回 (連続講座)	9月から10月にかけて実施予定。
	4	自然観察(地層・林)	学習支援を目的に、小・中・高等学校の依頼に基づき、生田緑地内の地層及び林の観察会を実施する。	通年	要望に応じて随時対応
	5	総合的な学習の時間支援	小・中・高等学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間の支援を行う。	通年	要望に応じて随時対応
天文	1	アストロテラス公開	平日の昼間アストロテラスにて太陽の観察を行う。 月に2回程度、日曜日に「昼間の星を見る会」を開催し、太陽と1等星や惑星などを観察する。	通年	
	2	アストロテラス夜間一般公開	日没後アストロテラスにて当日自由参加の天体観察会を実施する。	13回	
	3	特別観望会	珍しく観察しやすい天文現象等を観察する観望会を開催する。10月に接近する彗星の動向を見て計画する。	1回	
	4	プラネタリウムワークショップ	小学生を対象とし、プラネタリウムの番組を企画・制作・投影する教室を実施する。	12回 (連続講座)	5月から実施中
	5	プラネタリウム発表会	近隣の学校と連携した事業として日本女子大学附属高等学校と連携し、天文クラブ生徒によるプラネタリウムの番組制作、投影発表会を実施する。	1回	9月に発表会開催予定
	6	天文講演会／天文講座	外部から講師を招き天文等に関する講演会を開催する。	1回	

	7	天文サポーター研修会	天文サポーターを新規に募集し、天文事業ボランティアを育成する。定期的に会合を実施し、事業の準備や研修を行い、スキルアップと事業の充実を図る。	12 回	
	8	プラネタリウム イベント投影	プラネタリウムの星空と音楽や映像を楽しむコンサートや映像イベントを開催する。	2 回	10 月にオーロラ、12 月にコンサート開催予定
	9	かわさき星空ウォッチング	アストロカー（移動天文車）で市内各地に出向き、天体観察会を実施する。	通年	要望に応じて随時対応
	10	サイエンス教室（天文分野）	アストロテラスの望遠鏡を使った天体観察等を体験する教室や、小学生を対象としてプラネタリウムの解説など、天文学芸事業を体験する学芸員のおしごと体験教室等を実施する。	10 回	
科学	1	ワクワクドキドキ玉手箱 出前科学実験教室	小中学校等の依頼に基づき、市民団体を講師として派遣し、ワクワクドキドキ玉手箱を活用して行う科学実験教室	通年	実施中
	2	サイエンス教室（科学分野）	様々な年代を対象に、科学の楽しさに触れられる実験や工作を行う事前申込制の教室。 かわさきアトム工房（小学生対象）12 回 NPO 科学実験教室サポーター・くじら（小学生中学年以上対象）10 回 トラボクラブ（親子参加型教室）3 回、（大人向け講座）1 回 サイエンス・ちゃれんじ・チーム（大人向け講座）1 回 チーム・コスモス（小学生対象）2 回 科学館職員（科学分野テーマ）1 回	30 回	実施中
	3	サイエンスワークショップ（サイエンスショー含む）	子どもから大人まで楽しめる当日参加型のイベント。サイエンスをテーマにした簡単な工作や観察・実験を実施。 かわさきアトム工房 28 回 NPO 科学実験教室サポーター・くじら 2 回 トラボクラブ 14 回 サイエンス・ちゃれんじ・チーム 2 回 チーム・コスモス 5 回 科学館職員 14 回	65 回	実施中
		科学実験ショー（サイエンスショー）	ワクワクドキドキ玉手箱を活用した科学実験ショーなどの開催 ※11/4、2/24 振替休日の 2 日間を予定（トラボクラブ担当）	2 回	11・2 月開催予定
	4	第 19 回かわさきサイエンスチャレンジ	子どもの科学への関心喚起・促進を目的に、KSP（かながわサイエンスパーク）で開催される「かわさきサイエンスチャレンジ」に参加し、科学実験教室を実施する。	8 月	開催準備中
	5	科学サポーター研修会	科学実験指導者を養成することを目的とした講座	6 回 （連続講座）	7 月 7 日から全 6 回講座を開催予定
	6	子ども創意くふう教室	一人ひとりの創造性を伸ばすことを目的に行う、科学実験・工作教室（担当講師：川崎市元教員）	5 回 （連続講座）	12 月から開催予定

	7	出前教室	科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関するテーマを行う出前教室	通年	要望に応じて随時対応
	8	学校支援 ゆうゆう広場科学実験教室	川崎市適応指導教室（ゆうゆう広場）に通う小中学生を対象に、科学館や各ゆうゆう広場にて行う科学実験教室	24 回	6 月から開催中
	9	学校支援 かわさき GIGA スクール構想	学校の理科教育の充実につながるよう端末を活用したデジタル教材を開発し、提供する。	通年	開発作業中
出版事業	1	青少年科学館「紀要」等出版物の刊行	調査研究等、学芸事業の成果を「紀要第 35 号」に取りまとめていくが、今年度から紙媒体での刊行はせず、PDF ファイルを科学館ホームページで公表。	通年	

(5) ネットワーク事業

分野	事業名		事業内容	実施回数	事業実施状況
	1	環境局 企画展	川崎市が所蔵している写真や映像などから川崎の環境歴史を振り返る展示を行うことを通して、脱炭素社会など未来に向けた行動を考えるきっかけを作る「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」を環境局地域環境共創課と連携して開催する。 7 月 27 日～8 月 25 日	1 回	7・8 月開催予定
	2	FIELD MUSEUM 展	令和 7 年 1 月に、専修大学ネットワーク情報学部コンテンツデザインプログラム専攻の学生がデザインした生田緑地の体験型教材等について、展示・解説を行う。	1 回	1 月開催予定
調査研究・ 収集保存	1	川崎市域の生物調査	「かわさき自然調査団」と共著で調査結果を公表する。「神奈川県植物誌調査会」の川崎ブロック事務局として資料の受入、問合せ等に対応する。	通年	適宜対応
学習支援	1	職場体験・職業インタビューの実施	中・高等学校の依頼に基づき、博物館業務の一部を体験学習させる職場体験や、市内小中学校等を対象に、博物館業務全般についての解説をする職業インタビューを行う。	通年	適宜対応
	2	中学校連合文化祭開催への協力	市内の中学生が集まり、川崎市中学校理科作品展に出展し、受賞した作品の研究発表を行う。 ※令和 6 年 10 月 23 日（水）会場協力予定	1 回	10 月開催予定

	3	教員・職員等研修の受入れ ・教員研修 ・教員社会体験研修 ・博物館実習	・市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により、自然観察（地層・林）や天文の研修会を実施する。横浜国立大学 CST 養成講座、川崎市総合教育センター依頼の研修会に対応する。 ・主に、県内小中高등학교、特別支援学校に勤務する教職員 5 年及び 10 年経験者研修対象者からの要請により、館の業務体験の機会を提供する。 ・博物館学芸員を志す学生を有する大学からの要請により、プログラムを編成し、8 月に 2 週間の実習を実施する。	通年	適宜対応
地域振興・生田緑地内	1	図書館、区役所等との共催事業の実施	プラネタリウムでの読み聞かせ事業の多摩図書館との共催、区民祭等多摩区役所が実施する各種イベントの共催、連携を推進する。	通年	図書館連携は 7 月開催予定。区民祭 10 月開催予定
	2	地域の大学、団体等との共催事業の実施	インターンシップの受入れ等、地域の大学・団体等との連携を推進する。	通年	適宜対応
	3	生田緑地ミュージアムの実施	指定管理者、生田緑地内施設との連携により、円滑な事業運営体制を構築して実施する。	1 回	9 月開催予定
	4	日本民家園との「七夕」「お月見」事業の共催等、生田緑地内施設との共催事業の実施	「七夕」「お月見」事業の日本民家園との共催により、プラネタリウムの関連番組の投影、七夕飾りつけ体験やお月見トークを行う。	通年	七夕事業は、7 月 6, 7 日の 2 日間にかけて実施予定 お月見は開催方法等を民家園と検討中
	5	生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上	全体会議、広報担当者会議の参加、協力により、緑地内施設と指定管理者との情報共有、横断的広報活動の推進を図る。 生田緑地内施設、藤子・F・不二雄ミュージアムとの連携によるスタンプラリーの開催、生田緑地イベントガイド作成等により施設の回遊性の向上を図る。	通年	定期的な広報会議等で随時情報共有・交換を図る。

(6) 管理運営

	事業名	事業内容	実施回数	事業実施状況
管理運営	1 管理業務	指定管理者との連携により館を円滑に運営するとともに、予算の計画的執行、来館者数の確保を図る。 令和 6 年度は第 3 期指定管理の 2 年目となる。引き続き指定管理者と連携し、円滑な事業運営を行うとともに、自主事業の実施を支援する。	通年	指定管理者と市の連携により適切に運営中。
	2 危機管理	館の災害対応マニュアルについて、他施設の取組を参考にしながら精度を高めるとともに、定期的な訓練等を通じて災害時における適切な対応の確保を図る。	通年	館内防災体制の明確化のため、避難誘導、天文管理、施設巡回、初期消火、応急救護の 5 班を設置、マニユ

			また、指定管理者による緑地全体の危機管理マニュアルの整備、訓練等を通じて、広域避難所内の一施設としての適切な対応の確保を図る。		アルを作成し、非常時対応の共通認識を図っている。
	3	進行管理	事業の自己評価を適切に行い、青少年科学館専門部会の事業評価や指導・助言を踏まえて年度事業計画を策定し、事業実施・進行管理を行う。	通年	年間計画に沿った事業実施を図る。
科学館の魅力を高めるサービス展開	1	広報計画	科学館だより、プラネタリウムリーフレット、ホームページ、SNS等による情報発信を広範かつ迅速に行うとともに、緑地全体の広報活動と連動した情報発信を行う。	通年	科学館だよりの発行や市発行の広報市等への掲載、適宜X、Facebook等のSNS等で積極的に情報発信している。
	2	魅力を高めるサービス展開	適切な接遇及び研修による職員の専門性の向上、カフェ・ショップにおけるサービスの向上、来館者の利便性向上などにより、館全体の魅力向上を図る。	通年	適切な案内・接遇に努め運営中。職員の専門性を高めるための研修を計画中。
	3	多様な利用者への配慮	バリアフリー関連設備・用具、表示の保全と研修等による人的支援の充実を図るとともに、外国人来館者も含め利用者の利便性向上を図る。	通年	施設設備のバリアフリー対応は確保されており、接遇面で外国人他多様な来館者に配慮した対応を継続中。

令和6年度 青少年科学館専門部会 今後のスケジュールについて

			4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月									
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬										
令和6年度 定例会議	←→																		←→			←→			←→									←→											
	R5事業評価公表版 の最終確認									●												第2回(10月下～11月上旬) ・R6事業中間報告						第3回(11月下～12月下旬) ・委員個別の施設見学、視察									第4回(3月中～下旬) ・R6事業評価 ・第3回施設見学報告 (事務局案の確認・決定)								

※ 現委員任期はR8年4月末まで